入場無料

～ みんなで考えよう 次世代につなぐ『公共施設』について ～

＝ 浦添市公共施設マネジメント　市民フォーラムのご案内 ＝

私たちの身近には、学校や公民館といった公共施設や、道路、水道といったインフラ資産など、多くの公共施設等が整備され、私たちの日々の生活の中で密接に関わっています。一方で、人口減少や少子高齢化が進むなか、今後、公共施設の整備に必要な費用を確保できるのか、全国の自治体で大きな課題となっています。

そこで、今後の公共施設のあり方や、浦添市の現状と課題、今後の取組みなどについて、みんなで考え、一緒に理解を深めるための市民フォーラムを開催します。

事前の申し込みは不要です。ぜひ、ご参加ください。

日　　時

平成 28 年 5 月 31 日（火）
午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
（午後 6 時 30 分　開場）

開催場所

浦添市てだこホール（小ホール）

【お問合せ先】
浦添市役所　総務部　財産管理課
TEL　098-876-1234（内線 2014）
FAX　098-876-8585
E-ﾒｰﾙ　zaisankanri@city.urasoe.lg.jp

開催内容

1.主催者あいさつ
浦添市長　松本　哲治

2.基調講演
『施設マネジメントの進め方』
～自治体の今後を公共施設と都市基盤から考える～
【講師】堤　洋樹　氏
（前橋工科大学工学部 准教授）

3.報告
『浦添市の公共施設の現状と課題』

4.パネルディスカッション
【コーディネータ】池澤　龍三　氏
（一般財団法人　建築保全センター公共建築マネジメント研究センター　主任研究員）
【パネリスト】
・浦添市長　松本　哲治
・堤　洋樹　氏
（前橋工科大学工学部 准教授）
・松村 俊英　氏
（ジャパンシステム株式会社）

定員 300 名（当日先着順）

講師＆パネリストの紹介

堤　洋樹氏
（前橋工科大学工学部准教授）

【専門分野】
少子･高齢化が進むなか、建物を有効に活用し資産価値を高めるためには適切な維持管理の実施が不可欠である。そこで堤研究室では、全国の（木造）住宅から公共施設まで幅広い建物・施設を対象に、大学・メーカー・自治体・民間企業などとの共同研究を通して維持管理の実態把握、さらに最適な維持管理手法の検討など実践的な研究を行っている。
「公共施設マネジメントシステム構築に関する研究（平成 20 年度）」、「公共施設マネジメントの事例調査に基づく実践方法（平成 23 年度）」など、公共施設管理に関する研究取り組んでいる。
さらに平成 24 年 9 月より、早稲田大学理工研究所のプロジェクト研究「公共所有不動産の経営ジェクト研究（代表 :小松幸夫教授 小松幸夫教授 小松幸夫教授)」のメンバーとして、全国自治体公共施設管理に関する事業 支援・共同研究などを行っている。

池澤　龍三氏
（一般財団法人　建築保全センター）

【略歴＆専門分野】
千葉大学工学部建築学科卒業。平成 2 年佐倉市入所（建築営繕業務、建築確認・指導業務）、建築指導業務と併せてFM 業務を兼務、 総務部管財課 FM 推進班長（副主幹）、資産管理経営室 FM 推進室（主幹）を経て平成 25 年現職となる。施設統廃合、施設再配置等の スペシャリスト。
※講演活動等
・埼玉県日高市、大阪府八尾市、おおさか市町村職員研修（マッセOSAKA）、奈良県葛城市、高知県高知市、静岡市議会、福島県 FM 地域会、全国建設研修センター、埼玉県朝霞地区公共施設マネジント研究会、兵庫県西宮市、青森県弘前市、東京大学公共政策大学院講義、愛知県庁（＋県内市町村）、奈良県庁（＋県内市町村）、大阪府大東市（FMアドバイザー） 等多数

松村　俊英氏
（ジャパンシステム株式会社）

【専門分野】
早稲田大学政治経済学部経済学科卒。
首都大学東京社会科学研究科経営学専攻博士前期課程終了（経営学修士）
公共における財政・会計・行政評価等。民間企業の管理会計が専門。これまで多くの自治体において「公会計」導入支援に従事。
内閣府官民競争入札等管理委員会専門委員。早稲田大学建築学科小松研究室ほか、複数の研究機関等で研究員を務めている。